

# はじめに

我が国では急速に少子高齢化が進行し、岡垣町でも、これまで増加してきた人口が減少傾向に転じており、それに伴う生産年齢人口の減少や地域の担い手不足など様々な課題が生じています。

岡垣町では、これらの課題に対応し、将来にわたり活力あるまちづくりを続けていくため、第5次総合計画後期基本計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、出生率の向上や定住促進対策などの人口の維持・増加に向けた取り組みを進めてきました。



特に、エンゼルプラン(子ども・子育て支援事業計画)において、子どもを産み育てやすい環境を目指して、子育て相談・支援体制や保育サービスの充実、教育環境の整備などに取り組んでまいりましたが、制度や機関により相談支援体制が分断されているなど連携体制が不十分な状況や保育所利用の待機児童が継続的に発生している状況があり、これらの課題への対応が求められています。

このたび策定する「岡垣町第3次エンゼルプラン 岡垣町第2期子ども・子育て支援事業計画」では、基本理念に「子どもや子育て世帯を社会全体で応援する」という視点を新たに設定し、安心して産み育てられる環境づくりなど3つの基本目標に基づく施策を推進することとしています。

計画において、「切れ目なくきめ細かな支援体制の整備」を特に重要な事項とし、令和元年10月に設置した「子ども家庭総合支援拠点」と「子育て世代包括支援センター」を令和2年4月から一つの課に集約して設置し、より緊密な連携のもとにきめ細かな対応ができるよう相談支援体制の充実を図ることとしています。また、同様に重要な課題である待機児童の解消を図るため、教育・保育施設の確保を進めることとしています。今後、本計画に基づき住民、地域関係機関や団体、事業者などと役割分担と連携を図り、着実な推進に努めてまいります。

結びに、本計画の策定にあたりまして、アンケート調査にご協力頂きました皆様をはじめ、貴重なご意見、ご提言を頂きましたエンゼルプラン推進協議会の皆様に心から感謝を申し上げますとともに、本計画の推進に向けて、より一層のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年3月

岡垣町長  
宮内 實生

# 目次

第1章 計画の概要	3
1 計画の趣旨	
2 計画の性格	
3 計画の対象	
4 計画の期間	
第2章 岡垣町の子どもと子育て家庭を取り巻く現状	5
1 国の現状と子育て政策の状況	
2 岡垣町の状況	
3 エンゼルプランの取り組み	
4 住民意識調査結果から見る現状	
5 子どもと子育て家庭への支援における課題	
第3章 基本的な考え方	22
1 基本理念	
2 基本目標	
3 計画体系	
第4章 施策の展開(基本計画)	24
I 子どもが健やかに育つ環境づくり	
II 安心して産み育てられる環境づくり	
III 地域・企業での子育て支援環境づくり	
計画を支える推進体制	
第5章 子ども・子育て支援事業計画	32
1 教育・保育の提供区域の設定	
2 教育・保育の量の見込みと確保方策	
3 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策	
第6章 計画の推進に向けて	40
資料編	41
● 計画策定経過	
● 計画策定体制	
● エンゼルプラン推進協議会委員 等	
● 諮問・答申	